

## 議事録

### 会議名：第28回中四国学生剣道連盟理事会

- 日時：2008年5月17日PM1時30分より
  - 場所：愛媛大学教育学部・2号館・103教室
  - 構成員：33名
  - 参加者：湯村正仁、大森博之、小倉 肇、木谷直俊、森 正典、榊 康守、木原資裕、草間益良夫、山神眞一、石井博貞、境 英俊、竹内善一、香川直己、廣畑栄三、宮本理幸、矢野宏光、西田悠作、浅越幸太、山地裕士、岡田雄太、岡田尚子、橋本紘樹、池澤勇樹、古家甲斐、藤井絵里子、吉原 唯、寺谷優香、塩江康之、岡本知子（以下委任状により出席と見做す）小野瀬朱美、浅田竜至、寺田翔太、北村泰彦以上 33名、欠席者：0名  
オブザーバーとして、藤原崇郎、村井慎治
- 上記の通り、全体の3分の2以上の出席があった為、本会議は適法に成立した。  
慣例に倣い会長の湯村正仁を議長として議事が進められた。

### ●記録

氏名：古家甲斐

E-mail：info@tyushi.net（不明点はこちらへ）

### ●Summary：

- 議題1：第27回理事会議事録確認
- 議題2：平成19年度決算報告
- 議題3：幹事会報告（新規連盟加盟）
- 議題4：全日本理事会・常任理事会報告
- 議題5：中四国大会（選手権&新人戦）改革について
- 議題6：リーゼミ報告、次回リーゼミ企画案
- 議題7：審判員登録・推薦等について
- 議題8：剣道有功賞について
- 議題9：剣友会の報告
- 議題10：その他

## 1. 第27回理事会議事録確認

第27回理事会議事録を一部変更して異議なく承認した。

変更点：参加者&委任欠席（浅越康太と浅田竜至を交代）

## 2. 平成19年度決算報告

報告者：石井博貞

(1) 決算書は次回の理事会に提出する。

## 3. 幹事会報告

報告者：西田悠作

(1) 環太平洋大学の準加盟から加盟、島根県立大学の再加盟が承認された。

## 4. 全日理事会・常任理事会報告

報告者：西田悠作

報告者：木原資裕、草間益良夫

(1) 全日東西対抗について

- ・男子3分3本勝負、女子3分3本勝負。
- ・地域連盟での選手選考について、学生剣道を代表する選手の大会と位置づけ、地域連盟での選考は各大学幹部を中心に選考する。
- ・中四国連盟では、選考委員を会長・副会長・審判長・副審判長とし、男子ベスト16・女子ベスト9を前提として、全国大学対抗レベルを以て、各大学の上級生を中心に選考する。

(2) 全日選手権大会の出場枠（今年から3年間）が決定され、3年毎に過去5年間の登録人数を参考に決定される。中四国の場合、男子16名・女子9名になった。これからは地域連盟の全体の割合人数が増加すれば人数枠が増え、減少すれば減ることになり、新入部員の獲得が必須となる。

(3) 垂れネームの大学名略称の類似大学名について、全日への登録順に優先権を与え、地域連盟で全国名簿を基にチェックをしていくこととした。

- ・例えば、広島国際学院大学と広島国際大学の場合、先に加盟した広島国際学院大学に優先権を与え、大学名略称が被らないようにする。

(4) 審判委員会報告

- ・平成20年12月13日（土）広島県立総合体育館・武道場にて全日本学生剣道連盟審判講習会を開催する。
- ・平成20年度全日での垂れ目印については選手権、優勝大会で試用する。この目印

は全日が準備するので各大学で用意する必要はない。この試行を踏まえて来年度以降について検討することとなる。

#### (5) 全日選手権大会の日程

- ・ 1日目を女子大会、2日目を男子大会とし、監督者会議と主務会議を別々とした。
- ・ 1日目の開会式は全員剣道着・胴・垂れを付けて参加。2日目の閉会式は、表彰を受ける女子と男子は、剣道着・胴・垂れを付けて参加し、その他の女子は、ブレザー等の正装で参加する。

## 5. 中四国大会（選手権&新人戦）改革について

報告者：西田悠作

### (1) 選手権について

- ・ 就職活動や病気等やむを得ない事情で抽選後欠場する場合、なんらかの証明書を提出することで代替りの選手の出場を認める。ただし、不正に代替え選手を出場させた場合は除名等厳しい処分を与えることとする。
- ・ 全日出場が決定した後に欠場を希望した場合、その欠場者に選考基準の直前での試合に負けた選手が代わりに出場できるとした。ただし、全日の抽選会以降はできない場合もある。

### (2) 新人戦について

- ・ 男子の混成チームを認めてはどうか。
- ・ 男子の七人戦を五人戦で行ってはどうか。
- ・ 出場チーム数の制限を撤廃しては？
- ・ 参加しやすくするという趣旨は概ね賛同がされたが、これらについては学生幹事会において再度検討していただき、継続審議とする。

## 6. リーゼミ報告、次回リーゼミ企画案

報告者：山地裕士

- ・ 九州の角 正武先生をはじめとし、中四国の先輩方を交えた講習会・稽古会を行い、懇親会や最終日には三人戦の試合を行って各大学親睦を深めた。
- ・ 国立江田島青少年交流の家での開催は概ね高評を得られた。
- ・ 次回企画案は検討中。

## 7. 審判員登録・推薦等について

報告者：山神眞一、石井博貞

- ・ 審判登録名簿からの削除の方も各県考えて頂き、名簿の確認を依頼した。
- ・ 12月の新人戦に行われる審判講習会における連絡。
- ・ 鏝競り合いに関する留意点（審判者会議資料および代表者会議資料に掲載）について、全日本学生剣道連盟で進めている方針と同じく中四でもこの方針を進めていくことを確認した。

## 8. 剣道有功賞について

- ・ 全日本学生剣道連盟に対して、松山の青野晃治先輩の推薦が決定した。

## 9. 剣友会（全日本大会）報告

報告者：村井慎治

- ・ 11月30日米子で中四学連剣友剣道大会が行われ、来年3月には全日本大会が京都で行われる。
- ・ 優勝旗3本・大会旗1旗を作製する。
- ・ 熟年の部の創設に伴い、模範試合に出た先輩も試合出場が可能になった。
- ・ 京都・東京・名古屋に続き、7年後には全日本大会が中四国(岡山又は広島)で開催される。

## 10. その他

- (1) OB稽古会に中高生の参加を受け入れてもよいかという意見があったが却下された。
- (2) 8月に行われる理事会において会長・副会長・顧問・相談役の役員改選を行う。

以上の議事を終え、本会は午後15時03分、議長が閉会を宣言して散会した。

上記決議を明確にするため議事録をここに記す。署名人はこの議事録が正しいことを以てここに記名及び押印する。

平成 20 年 5 月 17 日

中四国学生剣道連盟 第28回理事会

署 名 人 宮 本 理 幸

署 名 人 古 家 甲 斐



## 次回 MTG

日 時：2008年8月30日

場 所：岡山大学・大学会館・2階